

108歳の元教師に 台湾から感謝状

玉名の高木波恵さん

戦前の台湾で教師をした108歳の高木波恵さん。玉名市溝上二に26日、台湾の総領事にあたる台北駐福岡経済文化弁事処の戎義俊・処長から感謝状が贈られた。「台湾人子弟の教育に熱心に取り組み、日台双方の友好関係の絆を作った」と称賛されている。



戎処長（左）から感謝状を贈られる高木波恵さん二玉名市溝上

高木さんは警察官だった父親について日本統治下だった台湾へ行き、教師の資格を取って約10年間、現地の小学1、2年生を教えた。80〜90代になった教えた子たちとの交流は続き、一昨年には約20人の教え子たちが母校に集まり、玉名にいる高木さんとインタビューを通じて顔を見ながら約80年ぶりに対話した。

戎処長は26日、高木さん宅を訪れて感謝状を手渡した。高木さんは足腰が弱っているため寝たきりの生活が続いているが、受け答えはしっかりしており、戎処長にも台湾語で「ありがとう」とお礼を言った。高校野球を楽しんでいるほか、3年後の東京オリンピックを見るのが夢だという。

（村上伸一）